

GRANT SHAPPS

Seasoned British Politician Who Held Multiple Key Roles in the UK Government (2010 to 2024)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Geopolitics
- Government
- Organisation
- Politics
- Security
- Strategy
- Sustainability

グラント・シャップス氏は、2010年から2024年まで英国政府で複数の重要な役職を務めたベテランの英国政治家です。

シャップス国防大臣（2023年8月～2024年7月）として、シャップス氏は英国の世界的な安全保障対応の形成に極めて重要な役割を果たした。ゼレンスキー大統領は、ウクライナ紛争への対応における同氏の戦略的役割を強調した。シャップス氏は、10月7日のハマスによるイスラエル攻撃の際にも在任しており、中東の複雑な状況を乗り切り、イラン、北朝鮮、ロシア、中国からの脅威に対処した。

2024年1月、シャップス氏はランカスターハウスで画期的な演説を行い、世界は戦後から戦前へと移行したと主張した。同氏は4月に英国の防衛費をGDPの2.5%に引き上げることに成功し、750億ポンドの増額となった。この増額はサー・キール・スターマー氏に刺激を与え、NATO加盟国すべてに追随するよう呼びかけた。

グラント・シャップス氏は、25年間にわたり住宅大臣として最長の在任期間を誇り、住宅、開発、計画の専門家として認められており、国家計画政策フレームワーク「NPPF」の共同執筆者でもあります。

運輸大臣として、シャップス氏は道路、鉄道、海運、航空部門の持続可能性と革新に重点を置き、主要なインフラの進歩を推進しました。資格のあるパイロットである同氏は、航空に関する超党派議員連盟の議長を務め、同連盟を議会最大の超党派グループにしました。

エネルギー安全保障およびネットゼロ担当大臣として、グラント・シャップス氏は、ブーチン大統領のウクライナ侵攻の影響を緩和する計画を立案し、英国の家庭や企業のエネルギー料金の最大半分を負担しました。同氏は技術革新を推進し、過去40年間で初めて原子力発電に投資した英国大臣となりました。特に、ドバイで開催されたCOP28で英国の交渉を主導し、世界的な気候公約と持続可能性の取り組みを推進しました。

グラント・シャップス氏はメディアに精通していることで知られ、複雑なテーマに精通している。これは、1週間の内務大臣を含む、彼が務めた閣僚ポストの数を考えると必須の能力だ。また、プレッシャーの下でも明確にコミュニケーションをとることで有名だ。

シャップス氏は、魅力的で知識が豊富で、進歩への情熱に駆り立てられ、政治的洞察力と先見の明を融合させ、人気の講演者となっています。彼の講演は、聴衆に政策、テクノロジー、そして世界の安全保障の将来について批判的に考えるよう促します。